



# 「NPO法人

再生第7号



# 富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊」通信

2014年5月10日発行

## 巻頭

理事長 早川 たかし

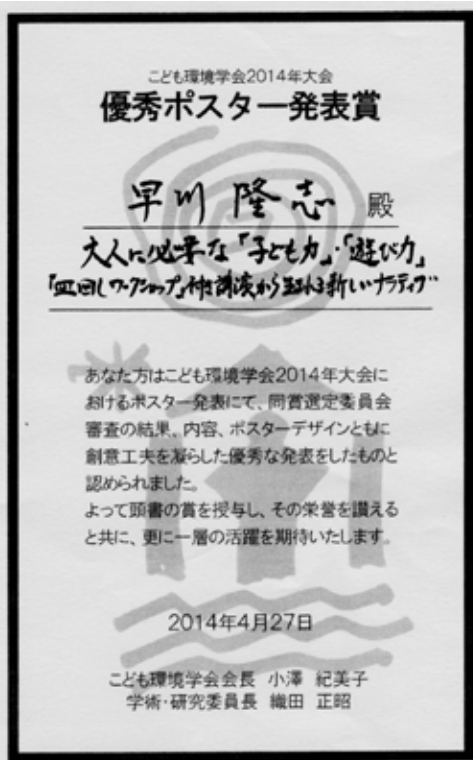
新緑の季節がまた、やってきました。8月にはNPO創設・満10年を迎えます。子どもイタズラ村を作って今年で31年。そして私事ですが3月に63歳になりました。皆様に支えられながら「よくここまで来たものだ」と実感します。

こんな年に当たって、子ども環境学会・京都大会(4月25日から27日)において「優秀ポスター発表賞」を受賞することができました。(実践記録)タイトル:大人にこそ必要な「遊び力」。「子ども力」サブタイトル:皿回し遊びワークショップから生まれる新しいナラティブ。「皿回し遊び」のもつ不思議な力が、人や人の人の関係に与える影響について書きました。(発表原稿の一部をP.2、P.3に掲載します。)

【子ども環境学会 2014年京都大会】



ポスター発表優秀賞受賞の様子



ポスター発表の様子



あいやー、たいへんお賞もろこしもた!

また、今年も、奇しくも「子ども環境学会」も10周年です。どちらも「節目の年」です。この年あたり、私たちは子どもの遊び環境を再生するために何を為すべきかを具体的に明示しなければならぬと思います。当NPOとしては、①原点である「子どもイタズラ村」の再生 ②皿回しワークショップの意味の確認とさらなる普及 ③会員同士のネットワーク作り ④会員が企画を立て実践する力を身につける ⑤「子どもが元気に遊び育つ環境の整備に関する条例」の制定運動(「子ども環境学会」と呼応して学習を進める、などの5項目を目標に上げたいと思います。最後にありますが、若い人達が動き始めています。「ガイヤ自然学校」(富山)や「らくほうかごっこう」(福井)、「ひろたんの森 自然と遊ぼう」(高岡)、など。そんな人達とも協力して動ける状況もできてきました。良い始まりです。



▷ 懇親会会場にて